

夏の終わり

教頭 角 玲子

夏休みも残り1週間となりました。今年の夏は本当に暑かったですが、8月後半になり、夕方あたりは涼しい風を感じられるようになってきましたね。また、気が付くと日が暮れるのが早くなってきており、午後7時にはすっかり日が落ち、虫の音とともに秋の気配が感じられるようになってきています。

二十四節気では8月23日頃が処暑となります。処暑は暑さが峠を越え減退し始めた頃のことですから、まさに今の時季を表している言葉といえます。とはいえ、長期予報では、9月もまだまだ暑そうです。新学期も熱中症対策を万全にしていきたいと思えます。

さて、今月は岩戸養護学校の8月の畑の作物の様子を紹介します。厳しい暑さの中、毎朝、日直の教員が水やりをし、担当教員が畑の整備をしました。

茄子にトマト、ピーマンにシシトウ、トウモロコシ、枝豆、などなど…。畑の野菜はつやつや、ぴかぴか、陽の光をしっかりと浴びて栄養満点という様子でした。グラウンドから見た真夏の青空とともにお届けします。

